

ヴァイオリン・リサイタル

with杉本優



鮮やかなメカニック、 華やかなテクニック

Program bert <del>Mex</del>ander Schuma

ヴァイオリンソナタ 第2番 ニ短調作品121 ほか

2020.8/22[±]

フィリアホール

青葉台東急スクエア South-1 本館5階 (東急田園都市線青葉台駅徒歩3分) 〒227-8555 横浜市青葉区青葉台2-1-1

## 全席指定 S¥3,500 / A¥2,500(稅込)

学児の入場はお断りしております。※青葉台東急スクエアの駐車券のサービスはご ざいません。※車椅子席をご希望の方は、オフィス諷雅までお問い合わせください。 ○お問い合わせ:オフィス諷雅 support@officefuga.jp

チケットぴあ 0570-02-9999 http://t.pia.jp

[Pコード:182-904]

イープラス https://eplus.jp/

フィリアホールチケットセンター

045-982-9999(11:00~18:00)

www.philiahall.com(24時間オンライン予約)

※フィリアホールは5月6日まで休館中で、それ以降も、休館が延長される可能性も あるため、ホールでの発売開始は、未定となります。予めご了承ください。

主催:オフィス諷雅





鮮やかなメカニック、華やかなテクニックを誇る才媛だ。楽の音を際立たせる覇気、情熱。

調べに寄り添う祈りの情趣がまた素晴らしい。オーケストラで弾く両親、名伯楽に導かれ、そしてファンの声援に応え、

髙木凜々子さんは羽ばたいた。内外のコンクール歴を挙げるまでもない。アンコールまで愉しかった東京文化会館小ホールでのリサイタル。 曲の終盤に向けて指揮者、オーケストラをもリードした読売日響との熱きメンデルスゾーンを思い出す。

いっぽうレクチャーでは、好みのコンチェルトを自身の言葉で語り、無伴奏の小品で聴き手を魅了する。

サン=サーンスのヴァイオリン協奏曲第3番のフィナーレのひとふしを「リリコだ、リリコだ、タカギリリコだ」と歌うポジティヴな感覚に酔った。 百花繚乱のヴァイオリン界。

お洒落でスター性もある髙木凜々子さんは、しかし何よりもソリストである。ソロでやっていきます、そのために努力します、 聴いて下さる方と創造の喜びを分かち合います、という好ましい気概が演奏に溢れ出る。

もちろん両親や先輩を交えた室内楽でも見せ場、魅せ場を創る。チャリティのオーケストラで表情豊かに弾く凜々子さんも素敵だ。 けれどもピアノとの二重奏ソナタを軸としたリサイタル、コンチェルトでこそ、彼女の魅力は際立つ。

弦の響きと相愛のフィリアホールでは、ドイツ・ロマン派の化身ロベルト・シューマンのヴァイオリン・ソナタ第2番ニ短調を弾く。

この選曲だけでほほ緩む。本物だ。メンデルスゾーンの協奏曲を初演したゲヴァントハウス管弦楽団のコンサートマスター、

フェルディナント・ダーヴィトのために書かれた彫りの深いソナタで、第1楽章の冒頭を劇的に彩るのは、ダーヴィトの動機D-A-F-Dである。 凛々子さんはさらに第3楽章に織り込まれたルター派のコラール旋律に想いを寄せ、第4楽章の激情、奔流をつややかに表現することだろう。 それを音楽的に、高みに導くのが、檜舞台に羽ばたこうとしている若きマエストロ杉本優のピアノだ。

「響宴」に抱かれたいものである。

-奥田佳道(音楽評論家)



ヴァイオリン 髙木凜々子

Ririko Takagi, Violin

巨匠アッカルドが認める若き実力者。

2017年、ハンガリー、ブタペストで行われたバルトーク国際コンクールで第2位、並びに特別賞を受賞し、国際的に注目される。続く2018年、東京音楽コンクールで第2位、並びに聴衆賞受賞。国内外でのリサイタルやオーケストラとの共演で活躍の場を広げる。3歳よりヴァイオリンを始める。日本演奏家コンクール、洗足学園ジュニアコンクール、全日本ジュニアクラッシックコンクール、小学生部門それぞれ第1位。全日本学生音楽コンクール全国大会第3位。かながわ音楽コンクール、横浜国際音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール東京大会中学生部門それぞれ第1位。津田梅子賞受賞。2010年度財団法人ヤマハ音楽振興会最年少音楽奨学生。2018年度ローム音楽奨学生。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を経て東京芸術大学音楽学部卒業。

その他のコンクール歴としては2012年オーストリア、オスト・ヴェスト・ミュージックフェスト 音楽祭主催ベートーヴェン国際コンクール第1位。

2014年イタリアで開催されたユーロアジア国際音楽コンクール in Italy 第1位

2015年ユーロアジア国際音楽コンクール in Tokyo 第1位

2016年スペインで開催されたユーロアジア国際音楽コンクール in Spain 第1位 2017年シュロモミンツ国際コンクール第3位

2018年5月にはニューヨーク日本総領事館にてリサイタルを開催し、コシュシュカ財団から新人賞を受賞した。東京文化会館をはじめ、日本各地でリサイタルを行う。

これまでに、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー、広島交響楽団、大阪交響楽団、セゲド・ハンガリー国立響、ブダペストのアニマ・ムジツェ室内合奏、ハンガリーソルノク市立交響楽団、など国内外の楽団とチャイコフスキー、メンデルスゾーン、ブラームス、ベートーヴェン、ブルッフ、モーツァルトなどの協奏曲や小品を共演し好評を博す。使用楽器は黒澤楽器店より貸与のストラディバリウス「Lord Borwick」(1702年製)

公式ウェブサイト https://www.ririkotakagi.com/



ピアノ/指揮者

Yu Sugimoto, Piano / Conductor

1990年生まれ。5歳よりピアノを始め、中学2年生の時に大友直人指揮京都市交響楽 団と共演。ウィーン国立音楽大学ピアノ室内楽科を経て、ハンブルク音楽演劇大学指揮 科を卒業。これまでにピアノを椚紀子、椿久美子、福井尚子、野原みどり、Avedis Kouyoumdjianの各氏に、指揮を小澤征爾、湯浅勇治、Ulrich Windfuhrの各氏に師事。 高校在学中の2008年から2013年までローム・ミュージックファンデーション音楽セミ ナー指揮者クラスに参加。同セミナーの指揮研修生として、特に小澤征爾氏のレッスン は度々受講した。2011年、21歳でブザンソン国際指揮者コンクールの本選の20人に選 出される。2013年、鎌倉での小澤征爾音楽塾特別演奏会を指揮。同年、サイトウ・キネ ン・フェスティバル松本の青少年のためのオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を指揮しオペ ラ・デビューも果たしている。その後神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽 団、ドイツのハンブルグ交響楽団、ドレスデン州立オペレッタ管弦楽団、デトモルト州立 歌劇場管弦楽団、フィルハーモニー・バーデン=バーデン、テューリンゲン交響楽団、ハ レ管弦楽団、ミュンスター交響楽団、ハイデルベルグ・フィルハーモニ管弦楽団、イタリア のアブルッツィ交響楽団等を指揮。オペラの分野でも、「魔笛」、「皇帝ティートの慈悲」、 「リゴレット」、「エウゲニ・オネーギン」、ヘンデル「アルチーナ」、「オレステ」、ウルマン「アト ランティスの皇帝」といった、バロックから現代にいたるまでのレパートリーを着実に取り 組んでいる。指揮活動と並行して、現在もピアノ奏者として、各演奏会、音楽祭に出演。 ヨーロッパ(オーストリア、チェコ、フランス、ドイツ、イタリア等)を中心に、室内楽等で活動 している。2012年・2013年度ローム・ミュージックファンデーションの奨学生。2008年度 京都芸術祭京都新聞社賞、2014年度滋賀県次世代文化賞を受賞。2016年~2018 年、オーケストラ指揮者では日本人で初めドイツ音楽評議会のDirigentenforumに登 録された。2019年ブザンソン国際若手指揮者コンクールにて、セミファイナルに進出。



〒227-8555 横浜市青葉区青葉台2-1-1青葉台東急スクエア South-1 本館5階 Tel.045-985-8555 http://www.philiahall.com/

- ●東急田園都市線青葉台駅下車徒歩3分
- ●駐車場のご案内

青葉台東急スクエア駐車場をご利用ください。ただし、フィリアホールをご利用の場合でも、駐車場ご優待サービスはございませんのでご了承ください。